



プロテクタ **エアモニ**

3万4650円

☎プロテクタ ☎0564-65-8410

http://www.pro-tecta.com/airmoni/



タイヤの空気圧と温度を常に監視して安全を守る

タイヤの空気圧管理は安全面でも燃費面でも重要。ワイヤレス構造で取り付け簡単な最新の「エアモニ」で、いつでもタイヤのコンディションをベストな状態にしておこう。

P i c k u p ! N e w T r e n d

異常が発生したときは ブザーとライトで警告

本来、タイヤの空気圧は運行前に必ずチェックしなければならぬ。タイヤの空気圧が指定値から外れると、クルマがふらついたたり、燃費悪化の原因になる。ガソリン高騰の昨今、これは辛い。さらに放置すると偏摩耗が発生し、バーストなどの大きなアクシデントに見舞われることもあるので、事は想像以上に重大だ。

プロテクタの「エアモニ」は、車内にいながらタイヤのコンディションが分かる装置。その特徴は、何といてもセッティングが簡単なこと。バルブキャップ型のワイヤレスセンサーを、既存のバルブキャップと交換するだけでほぼ作業は終了する。その後はレシーバーのディスプレイに各輪の空気圧と温度を表示させ、車内に付属のタッチメントで設置すればいい。

4輪同時表示なので、ひと目で全タイヤの状態が確認できるのも使いやすいつとこ。異常が発生するとブザーと赤色のバックライトで警告。ドライバーは即座に適切な対応が取れる。

警告までの数値は1輪ずつ独立して設定できるので、燃費や安全を重視するドライバーはもちろん、競技などでもシビアな空気圧管理を求める人にもピッタリだ。



約8.8gのセンサー部を既存のバルブキャップと交換するだけで設置完了。センサー通信は国内電波法に適合した電波を使用している。



レシーバーの電源は単4電池×4本。クルマの振動停止から10分経つとスリープ状態になる節約機能も装備。電源はシガープラグ(付属)でも可能。



異常値になると赤色のバックライトとブザーで警告するので素早い対処が可能。センサーのバッテリー残量が表示されるのも便利。

ハンディなレシーバーは車内に設置。空気圧と温度が4輪同時に映る大型ディスプレイによって、必要な情報がひと目で分かる。